

# みみよ



第 100 号

令和 4 年 7 月 15 日発行  
佐賀県聴覚障害者  
サポートセンター

## なお知らせ!

みみの記念日 3月3日耳の日 6月6日補聴器の日 9月9日人工内耳の日 9月23日手話言語の国際デー

### 発刊通算

# 祝

# 100回記念号

2014(平成 26).4.1 開設

**2014.4.15 第 1 号発行** “ここから” 振り返り



## 2022.7.15

“これから” を考える

# 2014(平成26)年4.1★センター 開設

👣 オープニング 「センターに期待すること」で挨拶したの  
👣 セレモニー は、今、手話で語るきらきらで活躍の手話  
★2014.4.15  
みみよりなお知らせ第1号発行  
第1号は白黒でした。  
第2号からカラーで発行しています。



## ★14.4.15 ランチタイム手話

昼休みの時間に合わせて商工ビル勤務の方を対象に手話学習。ここで学び始め、手話通訳者になった方もいます。

## ★14.4.27 手話通訳者養成講座 I・II 開講

## ★14.5.7 学生ボランティア講座 開講

## ★14.5.27 字幕制作ボランティア養成講座 開講

## ★14.4.20

## 初イベント HAND SIGN ステージ

商工ビル駐車場の特設ステージに聴覚障害者や関係者約140名が集まりました。



## ★14.6.4 要約筆記者養成講座 開講

人材育成の要となる各種講座が開講。学生ボランティア養成講座は、手話、PC要約、字幕を学ぶそれぞれ全6回の講座。手話では受講生が各大学でサークルを立ち上げ、今も後輩たちが活動を継続。月1回程度集まり学習を支援、手話検定試験にもチャレンジしています。在学中に準1級に合格した学生も。



## ★14.8.16 サガン鳥栖コラボ

## Jリーグ初18,100人が手話で応援

「優勝・目指して・一緒に・頑張ろう！」

ベストアメニティスタジアムの対FC東京戦。ハーフタイムにピッチで手話をレクチャー。大型ビジョンにも映され、全員が手話で「優勝目指して一緒に頑張ろう」と応援。



## ★「聴こえ」に関する記事 連載開始

～みみよりなお知らせ第3号から～

## ★14.7.1

## 嬉野市手話言語条例制定

嬉野市で、全国5番目である「心の架け橋手話言語条例」が制定施行。

## ★14.7.19 赤外線補聴システム使用

< 落語・ひと口佐賀にわか 公演 >

## ★14.8.19

## きこえと補聴器のQ&A講演

「聴こえのセミナー」の前身である講演会 開催

## ★14.11.13 初の社会参加促進事業

～名勝・工場を情報保障付きで巡る～

紅葉の九年庵と、ヤクルト工場を見学。手話通訳や要約筆記の情報保障が付き、普段は聞けない話に参加者からの質問もたくさん。年に2回、県内にとどまらず、県外へ出向くこともあった。コロナ禍で休止の今、終息後の再開が望まれます。



## ★14.9.20 センター祭り

ボディパーカッションで

♪音楽を楽しもう♪



## ★14.11.23 嬉野高校手話甲子園出場

～手話言語条例の聖地・鳥取県で手話甲子園開催～

鳥取県で第1回手話パフォーマンス甲子園が開催される。嬉野高校の介護福祉科16名が、手話とパフォーマンスの猛特訓を行い、本番に臨みました。



# 2015(平成27)年



★15.1.9 難聴者・中途失聴者向け  
手話講習会受講生で熊本センターを訪問



★15.1.22 社会参加促進事業  
～第15代 酒井田柿右衛門さんが案内～



★15.3.21 補聴器助成制度 知事意見交換会

この年の8月から身体障害者手帳の交付対象とならない軽度・中等度難聴児や人工内耳を装着している難聴児に対して補聴器購入や人工内耳機器更新の助成が開始されました。

★15.3.29 手話通訳者全国統一試験  
合格証書伝達式～合格者3名に伝達～

★15.4.19 センター開設1周年記念イベント

～ボディパーカッションで音楽を楽しもう～

太鼓の振動と手や体を叩いてリズムを作り、聴覚障害者や1階の国際交流プラザを利用する外国人も一緒に音楽を楽しみました。

★15.5.18 社会参加促進事業

～名村造船と福島炭鉱の今昔を学ぶ～



★15.6.13 赤外線補聴援助システムを使用した  
落語&にわか ～笑いは万病のクスリ～

「赤外線補聴援助システム」の常設は県内ではここだけ。赤外線で音を受信機に直接届けるシステムを活用して、落語とひと口にわかを堪能。会場が笑いに包まれました。

★15.7.15 アフターファイブ手話講座 開催

8/19までの毎週水曜開催。介護・医療関係、行政職員など21名が修了。これを機に本格的に手話を学んで欲しいと願い開催。



★15.7.24 嬉野温泉女将の会  
「手話勉強中」認定証 贈呈

全9回の講座を受講している旅館・温泉(9か所)のフロントに「手話勉強中」認定証を掲示してもらう。



★15.2.23 開設1周年記念講演

大沼直紀先生 講演会(当時 東京先端研)

「難聴の痛みは精神的、心理的、社会的な人と関わることで発生する特別な痛みであり、社会に聞こえの痛みを知ってもらう必要がある」と講演。大沼先生は今、電話リレーサービス提供団体の理事長を務められています。



★センター来館者 10,000 人達成

15.3.4 佐賀市在住 聴こえの相談に来館

★15.3.15 手話落語 デフー福さん公演&講演

～手話落語人生35年を語る～



★15.7.24～8.18

公立文化施設情報保障調査

\*佐賀県内21か所を当事者が巡り現地調査

火災や地震等緊急時のお知らせが館内放送(音声)だけでなく、文字など見て分かるようにされているか?展示のガイドが分かりやすく見られるようになっているか?などを調査。ほぼ全ての施設で情報保障がなされていませんでした。その後、要望をまとめて提出するも、2022年の今も未だ改善されていない所も。

★15.7.7 初の小学生学習体験・見学

大詫間小学校の5・6年生が学習体験で来館。聴覚障害や手話について学ぶ。開設当初から言い続けている「小さい時から触れること」の第一歩を歩み出しました。

★15.7.11 きこえのセミナー 開催

スターキーアメリカ本社所属の講師を招いた講演会に約30名が参加。この時から「きこえのセミナー」という名称が続いている。

★15.8.17 納涼 竹あかり写真会

御船山楽園(武雄市)でプロジェクトンマッピングを用いたイベントの撮影会。6名のろう者が参加、北村先生の指導を受けながら撮影、力作揃い。



## ★15. 9. 28 社会参加促進事業

～唐津市の食鶏加工施設、名護屋城博物館を見学～

この頃はARを使って動画も紹介していました。



## ★15. 10. 24

### あすなろ祭で手話歌披露

～西九州大学佐賀キャンパス文化祭～  
学生ボランティア講座をきっかけに結成された西九州大学の手話サークル。活動成果「涙そうそう」の手話歌発表を文化祭で行った。

## ★15. 11. 14 みみサポーター養成講座 開講

～「聴こえ」を正しく理解し、必要とされている支援を～  
聴こえに関心を持ってもらい、正しい知識と支援の方法について学ぶ講座が始まりました。今では募集するとすぐに定員に達する人気の講座です。



# 2016(平成28)年



## ★16. 1. 11 新春 センター祭り「笑福来門」

～福笑い、手話かるた、南京玉すだれで初笑い～

## ★16. 2. 13 喜楽屋馬次郎 手話落語会

～笑えば幸せやってくる～



## ★16. 3. 22 - 24 東北3県視察 東日本大震災から学ぶ

<聴覚障害者の死亡率2.00% 3県全体の死亡率1.03%の約2倍>

地震、津波、原子力事故、どの災害も佐賀県で発生する可能性があります。実体験を聞き、津波の爪痕を実際に見てきました。この教訓から学び、防災・減災につなげていきます。

## ★16. 4. 14 4. 16 熊本地震 最大震度7連続

佐賀県でも震度5を観測。これまで経験したことのない揺れを感じました。連日報道される熊本地震の様子をまとめ、展示会を開催。非常持ち出しリュックの実物も展示。後日、熊本市動植物園の松本獣医師から猛獣の引っ越し作戦等の講演も。

## ★16. 4. 13 世界遺産・三重津海軍所跡

～VRスコープに字幕、聴覚障害者から喜びの声～

## ★16. 4. 24 3年目スタート記念トークショー

早瀬憲太郎さん・久美さん～伝えたい、だから諦めない～

約90名が集まったトークショーでは、いろいろな事にチャレンジされてきたご夫妻、諦めないことの大切さや「聞こえるか、聞こえないか」で決めるのではなく、「やりたいか、やりたくないか」で決めると話されました。久美さんは、今年のデフリンピックにもチャレンジされ、自転車競技で3位、銅メダルを獲得されました。



## ★16. 3. 9 聴こえのセミナー

50名が参加。難聴と認知症、補聴器リハビリについて学ぶ。

## ★16. 3. 27 合格証書伝達式

手話通訳合格者1名

要約筆記合格者4名に伝達

## ★16. 4. 11 社会参加促進事業

👉 多久聖廟恭安殿を特別開扉

👉 畜産公社工場見学



音声認識を使用した文字表示



宮古市役所の津波浸水深

★16.6.11 全聴情協 言語聴覚士課題検討会

～当センターが呼びかけ、5市（府）県のSTが集まる～  
全国50施設（当時）のうち、常勤のSTがいるのは10施設。京都市（府）、富山県、兵庫県、山口県、佐賀県の5施設が京都に集まった。今は全聴情協の正式な部会として活動しています。

★16.9.1 手話語り「李参平ものがたり」

～手話で語る陶祖・李参平、ろう学校で披露～  
佐賀県立ろう学校で手話語り「李参平ものがたり」を上映。同校OGでもある語り手から、第14代金ヶ江三兵衛さん（監修）に取材したこと、撮影の裏話や在校生へメッセージを伝えました。



★16.9.25 初の原子力防災学習会

唐津市在住の聴覚障害者が原子力防災について学ぶ。

10.16には伊万里市在住の聴覚障害者が学習。

★16.10.1 バルーンミュージアム開館・要望提出

\* 公立文化施設調査対象が22か所に増加。

★16.10.28 - 11.6 佐賀熱気球世界選手権

31か国 105機のバルーンリストが参加 情報保障も実施。

★16.12.15 佐賀空港スタッフ 接遇研修に講師派遣

聞こえない、聞こえにくい利用者への接遇について研修。

★16.7.22 聴こえのセミナー

フォナック・ロジャーシステムを体験

★16.8.9 神埼清明 手話甲子園初挑戦

～予選会で加藤登紀子作詩曲の校歌を披露～  
結果は落選。8.27-28 共に予選会に挑戦した嬉野高校と一緒に佐賀県高校生産業教育フェアにて手話パフォーマンスを披露。

★16.9.26 社会参加促進事業

初の県外視察 いのちのたび博物館



★16.11.1 聴覚障害者向け

相談支援事業所 設置

2017(平成29)年



★17.1.20 佐賀市主催 要約筆記教室

「要約筆記とは？」を学ぶ短時間の講座。この講座で興味を持って、全80時間の養成講座を受講された方もいます。

★17.1.25 アフターファイブ手話レベルアップ講座

初のレベルアップ講座。2/22までの毎週水曜開催。行政職員や特別支援学校教職員を対象に、レベルアップのための手話講座。

★17.1.26 佐賀空港スタッフ UD研修に講師派遣

ろう者の空港利用体験など当事者による講義を行った。

★17.3.6 中島和次さん（養成講座講師）収録

「手話この魅力あることば」シリーズ DVD 発刊

★17.4.8 指定管理2期目スタートアップ講演会

～平成29年から令和3年までの5年間を担う～

当センターの生みの親である古川康代議員（前佐賀県知事）を講師に招いて、リオ後のオリ・パラ合同パレード、障害者の文化芸術活動、手話言語法など講演いただく。

★17.4.24 社会参加促進事業

～有明水産振興センター、肥前浜酒蔵を見学～



★17.1 県立多久高校

手話奉仕員養成カリキュラム修了

授業の一環で1年間学んだ手話奉仕員養成講座を修了。

★17.2.25 喜楽屋馬次郎

手話落語会

～笑えば幸せ再びやってくる～

★17.3 合格証書伝達式

.19 手話通訳合格者5名

.30 要約筆記合格者3名に伝達



★17.4.山口相談医 就任

人気シリーズ「ひと言コメント」は、まとめて冊子になりました。

★17.5.25

中島朝日新聞編集委員 講演会

～ろう者の孤独と一億総活躍社会～

★17.5.26

6.2 県新採職員研修で手話指導

～141名を2班に分けて手話指導～

## ★17.7.7 聴覚障害者を雇用する企業 情報交換会 立ち上げ

第1回目は、参加企業8社のうち5社が集まりました。「指示（話し）がすれ違う時がある」「受け身になっているので、積極的に聞いてきてほしい」など、それぞれの課題と対応を共有することができた。この情報交換会は、今も続いています。



## ★17.6.4 嬉野温泉 学習の成果発揮

運営委員（当初）の黒崎手話研修センター理事長をはじめ、高田英一さん（手話研究所所長）などが嬉野温泉大村屋に宿泊。女将の会手話講座で学習したおもてなしを実践。

## ★17.7.11 きこえのセミナー

スターキーより講師を招き講演会開催。きこえの相談にもつながる。

## ★17.7～8月

### 安否確認システム事前登録開始

聴覚障害者と支援者の関係団体に事前に呼びかける。佐賀市の民生委員児童委員協議会にも協力を得るため、全地区にお願いに回る。

## ★17.9.8 安否確認 テスト配信

全登録者を対象に安否確認のテストを行った。各々で設定されている迷惑メール拒否のため通知が届かない方も。

## ★17.9.17 安否確認 発動

大型で強い台風18号が南九州市に上陸したため、初めて安否確認を発動させる。上陸後、台風は南方へ進路を変えたため、安否確認は「見た」けれども、回答した人は少なかった。

## ★17.10.2 社会参加促進事業

～ダイハツ久留米工場、平和祈念館を見学～



## ★17.8.23 龍登園 手話・接遇学習

職員へ手話や聴覚障害者への接遇など全8回の講座で指導しました。

## ★17.9.4 国と合同 原子力防災訓練

みやき町と武雄市東川登に避難訓練。この時から災害用ビブスの着用を始める。



## ★17.9.24 佐賀市総合防災訓練

地震発生を想定した訓練が実施され、大和支所の職員が受付で難聴者への対応を経験する。

## ★17.10.13 聴覚障害者と防災 講演会

東日本大震災から6年、当時支援の先頭に立たれた宮城県聴覚障害者情報センターの庄子陽子さんを招聘。全県停電、テレビは見られず、スマホも圏外、内陸部では津波が来たことを翌日の新聞（新潟県で印刷されたたった4面の新聞）を見て知った、など、実体験とその支援について聞き、学びました。

## ★17.10.20 きこえのセミナー

コミュニケーション開発者に「難聴と認知症」について話され、事例も紹介されました。

## ★17.12.24 バルーン写真コンテスト 表彰式

佐賀の風物詩「バルーンフェスタ」手話通訳や手話による総合受付など情報保障に関わってきましたが、聴覚障害者や支援者が参加できるイベントとして、全国へ呼びかけた写真コンテストを開催しました。第1回目は、九州はもとより、大阪や徳島からも申込がありました。（写真は、最優秀賞と審査員特別賞受賞作品）

## ★17.12.15 新連載 開始

### 「山口相談医のひと言コメント」



森本悦子さん（堺市）  
「空と地上とのあいだに」



「わんダフル」辻田 亜紀さん（佐賀市）

最優秀賞「バルーンコンダクター」砂子田 智さん（筑紫野市）

# 2018(平成30)年

★18.1.31 第29回手話通訳士試験 合格発表  
佐賀県から、松尾留美さんと本村恵さんの2名が合格。

★18.1.31 コグニサイズ体験と聴こえの講演  
認知症予防プログラムを体験。そのうちのひとつ「100から3ずつ引いていって、最後に1にする」(100、97、94…)やってみませんか。

★18.2.14 聴覚障害者雇用企業情報交換会  
ゲストに宮崎県教育庁特別支援教育室の井上秀和指導主事を招き、都城さくら特別支援学校での12年間の指導のポイント聞きました。

★18.2.21 大災害に備える 連続講演会  
講師に中村慎策さん(福岡市ろうあ者相談員)を招いて、熊本地震発生後6月から翌年2月までの約9か月間滞在し各種相談に対応された話しを聞く。災害がきっかけで日常の困り事が浮き彫りに。

★18.3 合格証書伝達式  
・25 手話通訳合格者4名  
・30 要約筆記合格者1名 に伝達

★18.5.8 佐賀県議会 政策条例検討委員会 初会合  
5/29に意見交換会を開催。手話言語をベースとしつつ、要約筆記等文字情報支援も盛り込んだ条例を提起。

★18.5.16 龍谷こども園 手話指導  
言葉を吸収する年齢の子どもたちに園の生活で使用する手話を指導、モデルケースとして始める。毎月2回、翌年2月まで行った。

★18.5.17 手話通訳士協会佐賀県支部 設立  
支部と合わせて佐賀県手話通訳士協会が設立。



★18.5.30 きこえのセミナー  
運営委員でもある小城原さんより補聴器体験談を聞く。

★18.6.5 聴覚障害者雇用企業情報交換会  
ゲストに敬徳高校前理事長の稲田さんに変革の取り組み・人材育成の実践について話しをしてもらう。

★18.6.18 大阪府北部地震発生  
最大震度6弱の地震が発生。佐賀県では安否確認システムを使って「もしもの時の備えはできていますか？」の注意喚起を行う。

★18.7.10 大災害に備える 連続講演会  
講師の新中さん(手話通訳士)より、災害時対応で困っていること、願っていることを聞きました。

★18.8.24 ろう講師 維新博メイン会場を観覧  
手話通訳者現任研修の講師である近藤龍治さん(香川県聴覚障害者協会理事長)が維新博を観覧。聴覚障害者への配慮についてアドバイス。



★18.9.23 手話言語の国際デー 国連制定後初

佐賀県議会からサポートセンターまでパレード

## ★18.9.26 手話はいのち 佐賀県手話言語と聞こえの共生社会づくり条例 施行



「手話はいのち」  
佐賀県手話言語と聞こえ  
平成30年9月25日制定  
一般社団法人佐賀県聴覚障害者協会

佐賀から「手話言語」の維新を起こそう！  
全日本ろうあ連盟 常任理事事務局 局長 久松三二さんの挨拶

↑ 議場で手話通訳 県議全員で提案

★18.10.31 写真集 第一巻 発刊

「聴覚障害者・情報支援者がとらえた平成の風景」

★18.11.14 きこえのセミナー

認定補聴器技能者より補聴器の最新情報を聞く。

★18.12.22 バルーン写真コンテスト 表彰式

第2回目は、応募者 20 名 33 作品、千葉からも申込がありました。

(写真は、最優秀賞と審査員特別賞受賞作品)



審査員特別賞「虹のソナタ」 審査員特別賞「手で繋がる」  
上野 俊秋さん（福岡県） 砂子田 智さん（福岡県）

最優秀賞「通りますよ〜」 最優秀賞「地上でも勝負」  
寺井 佳子さん（大阪府） 香田 佳子さん（佐賀県）

# 2019(平成31・令和元)年



★19.1.10 大災害に備える 連続講演会

熊本動植物園の松本獣医師に地震発生から全面開園までの2年8か月の活動を話していただき、危機管理・情報管理の重要性を学びました。

★19.2.23 全障スポ先催県 講演会（福井）

情報支援ボランティア養成総括の田中桂子さんの講演、準備～本番時に大切なことを規模の似た県の例で参考になりました。

★19.3.15 聴覚障害者雇用企業情報交換会

メンバーでもある鳥栖シールさんより、聴覚障害者雇用6年間の実践について話していただく。

★19.3.16 凱旋講演 井崎哲也さん

「演劇の世界との出会い」講演とワークショップ。

★19.6.24 社会参加促進事業

～針尾送信所、無窮洞を見学～



★19.1.31

第30回手話通訳士試験 合格発表

佐賀県から、富田芳郎次さんと村田三枝さんの2名が合格。

★19.3.2 要約筆記ミニ講座 開講

★19.3 合格証書伝達式

.17 手話通訳合格者 5 名

.29 要約筆記合格者 2 名 に伝達

★19.5.1 元号「令和」となる

「令和」の手話は、「花のつぼみがゆるやかに開き、やがて花びらが環(わ)となった指先からふくよかな薫りをはなち、和みゆくさま」を表しています。

★19.7.21

参議院議員選挙投票日



この選挙から、参議院選挙区選挙でも政見放送に手話通訳が政党・候補者の選択により初めて付与されました。

★19.7.25

聴覚障害者雇用企業情報交換会

聴覚障害者6名を含む22名の利用者がいる就労継続支援B型事業所より管理者の牛島さんからケース毎の支援について詳細に話していただいた。

★19.7.28 きこえのセミナー

人工内耳について小宗九州大学名誉教授より講演。

## ★19.8.27～28 佐賀豪雨 記録的大雨と甚大な被害

28日未明には線状降水帯が発生、佐賀市で1時間110ミリ、白石町では3時間で245ミリの大雨を降らせ、午前5時50分に大雨特別警報が発令、命を守る行動を呼びかけられた。大雨による浸水被害だけでなく、工場からの油流出による被害も。(写真はJR高橋駅から県道方向を撮影。住宅1階部分が浸かる。)



## ★19.9. 県議会傍聴席 文字情報ディスプレイ設置

9月議会より43インチの文字情報用ディスプレイが設置されました。

## ★19.10.28 社会参加促進事業 ～熊本動植物園、熊本城を見学～



## ★19.10.31～11.4 バルーン 第40回記念大会

16国と地域から121機のバルーンが参加。全国で唯一、会場に手話通訳が付いており、競技の種類やルール、実況などを通訳しています。この取り組みは平成10(1998)年から、手話の会連絡協議会が行っています。当時の紙面では、バルーンパイロットを夢見ていたろう者を受け入れてくださったチーム「SKY-FAN(スカイファン)」を紹介しています。

## ★19.12.15 バルーン写真コンテスト 表彰式

第3回目は、応募者21名40作品が集まりました。この回は富山からも申込がありました。

(写真は、最優秀賞と審査員特別賞受賞作品)



最優秀賞  
「一瞬の朝焼けに  
映えるバルーン」  
福丸 宏美さん(大阪府)



最優秀賞「第40回記念にバルーン選手が  
やってきた」中島 和次さん(佐賀県)



審査員特別賞  
「夜明けと共に空高く」  
寺井 友一さん(大阪府)

## ★19.12.23 唐津市議会 手話言語条例可決

可決後、唐津市民会館にて条例制定祝賀会が行われました。12月23日同日施行。



# 2020(令和2)年

## ★20.1.4～10

### 米満大九郎 里帰り洋画展 1964～2019

佐賀県白石町出身の米満さん。生家に所蔵されている絵を整理される時にあわせて展示会を開催しました。絵描き人生55年の集大成、100号の大作など34点を展示。オープニング式典には田島白石町長はじめ町民多数も来館。



★20.1.29 佐賀市議会  
文教福祉委員会意見交換会  
委員会所属議員8名と意見交換、手話言語等  
条例制定を改めて要望しました。

★20.1.23 大災害に備える 連続講演会  
佐賀地方気象台の樋口気象情報官より「気象と防災」というテーマで、最近のゲリラ豪雨など常識が通用しないイレギュラーな事象について話していただきました。

## ★新型コロナウイルス 世界中に感染拡大

★20.2.1 ダイヤモンド・プリンセス号の乗客（香港で下船）で感染確認  
2.3 横浜港寄港中 海上で検疫、多くの感染者が判明

★20.2.19 掲載 厚生労働省 聴覚障害者向けコロナ相談窓口（FAX・メール）開設  
県内の聴覚障害者が発熱等相談窓口を利用できるよう、各保健福祉事務所に対応できる FAX  
番号を確認。聴覚障害者への配慮を要望しました。

★20.2.23 全障スポ先催県 講演会（愛媛）  
情報支援ボランティア養成協議会会長の岡野由季  
枝さんから、大小トラブルとその対応について講  
演。愛媛県は情報支援者の層の厚さに感嘆。

★20.3 合格証書伝達式   
.4 手話通訳合格者 3 名  
.28 要約筆記合格者 3 名 に伝達

★20.3.13 佐賀県でも感染確認

2022 年の今でも終息が見えていない新型  
コロナウイルス感染症。未知のウイルスにで  
きる限りの感染防止策を講じる。各種イベ  
ントは中止となり、夏の東京オリンピック・パ  
ラリンピックも延期となった。

★20.4.16～5.14 緊急事態宣言が発令  
全都道府県を対象に緊急事態宣言が出された。

★20.4.28 知事会見・対策本部会議・記者レクに手話通訳が付く  
5.2 同 会見等の要約版の掲載が始まる

新型コロナウイルス感染症に関して県が発信する情報（知事会見等）に手話通訳が、会見終了後  
に要約版（文字）の掲載が始まりました。要約版は重要な箇所がすぐに分かると今でも好評です。

★20.6.1 バルーンフェスタの中止が決定 写真コンテストもやむを得ず中止

★20.6.20 要約筆記現任で初のオンライン研修  ★20.7. コロナ第2波  
文字通訳者による UD トークを使用したリアルタイ 予定されていた講演会など軒並み中止に。  
ム字幕配信方法を学びました。

★20.7. VPN を使用 遠隔関係入力が可能に  
コロナによって現場に集合しての派遣は減りま  
したが、コロナ禍でのイベント（オンライン）に対  
応できるよう、遠隔での関係入力が行えるよう  
になりました。

★20.7～8. 聴覚障害者くらしのニーズ調査  
コロナで対面調査を断念。郵送によるアンケート調査を行った。

★20.9.25  
国スポ・全障スポ1年延期 2023 から 2024 に

鹿児島大会の延期開催決定を受け、佐賀大会が 2024 年実  
施に。10月1日に愛称も変更、SAGA2024 となった。

★20.10.20 「ひがさす」オープン 早急な改善を要求  
東よか干潟ビジターセンターがオープン。手話通訳者の配置  
や説明板の文字の大きさなど配慮はあるものの、シアター等の  
ナレーション・メッセージは音声のみ、字幕がありませんでした。

★20.12.15 全聴情協 研究事業「難聴者支援」で発表  
佐賀、神奈川、愛媛の言語聴覚士がそれぞれ特長ある支援実践を発表。

★20.12.24 ニーズ調査 第1回検討会議

夏に行った調査の第1回目の検討会議を開催。集計結果のポイントなどを説明する。

★20.8.22 全要研主催  
意思疎通支援事業での遠隔を考える  
人口の多い都会では会議など集まることが  
できずオンラインが当たり前。もちろん難聴  
者の情報保障も必要になります。第2波の中、  
オンラインへの対応がより身近になってしま  
した。

★20.9.7 台風10号 猛威  
佐賀市で最大瞬間風速 41.6m  
を記録。倒木などでけが人も。

★20.11.1 きこえのセミナー  
聴覚障害者の日常生活用具を取り  
扱う自立コム代表取締役より、  
最近の音声認識アプリやデモ機  
を使用して講演いただきました。

★20.12. コロナ第3波  
11月から感染者が増え、  
12月は月別で当時最多の  
159人が感染。

# 2021(令和3)年



★21.1.18~2.5 コロナ 県非常警戒措置 発表  
陽性者数と病床使用率が上がったため、非常警戒措置を発表。飲食店に時短要請。

## ★21.3.18 武雄市議会 手話言語条例可決

可決後、議場で記念撮影。その後、武雄温泉駅までパレードを行いました。4月1日施行。

## ★21.3. 遠隔手話・文字通訳システム導入

専用のアプリ「J-TALK (ジェイトーク)」を導入。聴覚障害者は事前に登録、専用のIDにて使用可能に。コロナに罹患した際、また、コロナが理由で手話通訳者や要約筆記者が派遣・同行出来ない場合にのみ使用。

## ★21.5.9 鶴崎さん 郷里大町町で聖火をつなぐ

鶴崎與市郎さんは57年前(昭和39年)の東京オリンピック時に聖火ランナーの伴走者として参加。今回は自らが聖火を持って走った。手話通訳士の香田佳子さんが伴走。

## ★21.5. コロナ第4波

4月後半から感染者が増え、5月7日から2度目の非常警戒措置が発表された。

## ★21.6.15

聴覚障害者くらしのニーズ調査連載開始

## ★21.7.1 電話リレーサービス 公共インフラとしてスタート

これまで日本財団がモデル事業で行ってきた電話リレーサービス。総務省管轄の公共のインフラとしてサービスが開始されました。

## ★21.7.1~25 鶴崎與市郎 写真展

写真講座の北村和秀先生や中島和次さんなどが撮影した写真をセンターロビーで展示、実際に持って走ったトーチも飾りました。来館者は実物のトーチを手にポーズをとり、記念写真を撮っていました。

## ★21.7. 県教育センター 教員手話研修

感染拡大のため集合研修はできず、映像にて手話表現と聴覚障害について学習。

## ★21.7.

### 下旬からコロナ第5波

夏休みに入り感染者がさらに増加、8月18日から3度目の非常警戒措置が発表されました。

## ★21.8.11 コロナ禍 またも大雨

今回の特徴は強い雨が長く降り続くものでした。11日から17日までに嬉野市や佐賀市では1,000ミリを超え、年間雨量の約半分の雨が1週間で降ったこととなります。

## ★21.8.27~9.12

### まん延防止等重点措置

### 唐津市が対象区域に指定

## ★21.10.3 きこえのセミナー

ソノヴァ・ジャパン(株)より補聴器技能者2名の講演、補聴器体験会を行いました。

## ★21.12.

### 無人化する鍋島駅等 JR九州に要望

3/12ダイヤ改正に合わせて佐賀県内5市町の6駅が無人化となるため、県立ろう学校最寄駅である鍋島駅の安全の確保等を要望しました。

# 2022(令和4)年



## ★22.1. コロナ第6波 オミクロン

12月22日大阪で確認された変異株(オミクロン株)の市中感染。1月に入り佐賀でも感染者急増。学級閉鎖や休校も。

## ★22.1.21 手話で語るきらきら 配信開始

手話キャスター(ろう者)によるろう者のための情報発信「手話で語るきらきら」の第1回目の配信。



## ★22.1. 山口相談医のひと言コメント集 発行

シリーズ第48回までのコメントをまとめて冊子に。

## ★22.3 合格証書伝達式

.13 手話通訳合格者5名

.26 要約筆記合格者2名 に伝達

## ★22.3.19 きこえのセミナー

「音は脳で聴いている」講演、脳に着目したAI補聴器を紹介。

# ★22.4.1 佐賀県聴覚障害者サポートセンター 指定管理 三期目 (R4~8年度) スタート

## ★22.5.17 三期目スタートアップ講演会 開催

京都府聴覚言語障害者福祉協会法人本部長の近藤幸一さんより「聴覚に障害のある人々の福祉について」講演いただきました。人間が生きていくうえで最も基礎的要素は、食とコミュニケーション。よりよく生きるための5つの保障など、聴覚障害者の生活と福祉制度の移り変わりなどお話しいただきました。



## pick up! 数でみる8年間

【センター利用者数・佐賀県内の身体障害者手帳（聴覚）所持者数】

区分	2014 (H26)	2015 (H27)	2016 (H28)	2017 (H29)	2018 (H30)	2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	計
利用者(人)	10,778	8,114	7,189	6,937	7,008	6,556	6,533	7,069	60,184
目標数(人)	4,000	4,500	5,000	6,000	6,000	6,000	6,000	6,000	43,500
対目標	2.69	1.80	1.44	1.16	1.17	1.09	1.09	1.18	1.38
手帳所持(人)	3,639	3,667	3,619	3,649	3,625	3,630	3,660	3,653	

### ●手話通訳者全国統一試験

区分	2014 (H26)	2015 (H27)	2016 (H28)	2017 (H29)	2018 (H30)	2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	計
受験者数(人)	9	10	15	11	11	12	12	11	80
合格者数(人)	3	1	4	4	5	3	5	5	30
合格率(%)	33.33	10.00	26.66	36.36	45.45	25.00	41.66	45.45	37.50
全国順位	3/50	37/50	10/50	1/50	1/50	19/50	1/51	3/51	
全国合格率(%)	11.77	18.05	14.42	12.89	17.93	20.04	19.73	20.36	

### ●全国統一要約筆記者認定試験

区分	2014 (H26)	2015 (H27)	2016 (H28)	2017 (H29)	2018 (H30)	2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	計	
受験者数 (人)	手書き	1	5	3	3	-	2	-	5	19
	PC	1	7	7	6	8	8	10	9	56
	計	2	12	10	9	8	10	10	14	75
合格者数 (人)	手書き	0	2	1	0	0	1	0	2	6
	PC	0	2	3	1	2	2	3	0	13
	計	0	4	4	1	2	3	3	2	19
合格率 (%)	手書き	0	40	33	0	-	50	-	40	32
	PC	0	29	43	17	25	25	30	0	23
全国平均 (%)	手書き	34	28	27	21	21	26	35	30	
	PC	41	29	32	35	33	33	39	27	

編集後記：たくさんの出会い・経験が肥料となり、多くの人が木陰で休める大樹となりますように。Kiyo.

## 佐賀県聴覚障害者サポートセンター

〒840-0826 佐賀市白山二丁目 1-12 (佐賀商エビル4階)  
 TEL: 0952-40-7700 FAX: 0952-40-7705  
 メールアドレス: info@saga-mimisapo.jp  
 ホームページアドレス: http://saga-mimisapo.jp/

### ＜開館時間＞

9:30 ~ 18:00

### ＜閉館日＞

毎週月曜日、祝日、年末年始